

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□ベトナムにおける旋盤、フライス盤の国家技能検定化

ベトナムでは、2013年に労働・傷病兵・社会省職業訓練総局とJAVADAとの間で覚書が締結されて以来、技能検定を行う検定委員が数多く養成され、ベトナム語の学科試験問題を提供するなどして、日本方式の技能検定の導入が進められています。2018年5月に、旋盤、フライス盤が国家試験対象職種に追加されるとともに、国家検定を行う評価センターとして、ハノイ工業大学（HaUI、両職種）、ハノイ市工業職業訓練短期大学（HIVC、旋盤）が指定されました。

これに基づき、6月2日（土）からハノイ市工業職業訓練短期大学（HIVC）で「旋盤」の技能検定評価センターの開所式が開催され、旋盤2級（日本の3級に相当）の国家技能検定が初めて実施されました。また、翌週の6月9日（土）～10日（日）にはハノイ工業大学（HaUI）にてフライス盤2級（日本の3級に相当）の国家技能検定が実施されました。受検者は旋盤が24名、フライス盤が9名、合格者は旋盤が22名、フライス盤が1名。

今後はベトナム側が自立して同レベルの技能検定を実施してだけでなく、さらにベトナム国家技能検定中級レベル（日本の2級）を実施していくことが期待されています。



検定風景（HIVC）

□タイにおけるシーケンス制御作業の国家検定の見通し

タイにおいては、特に電気・電子分野を優先して日本方式の技能検定を普及させる活動を行ってきましたが、ようやくシーケンスの試験基準が整備されました。レベル1（日本の3級に相当）については、既に制度が完成し、2018年内の国家技能検定試験実施に向けて受検者を募集しています。

タイのシーケンス制御作業の国家検定化は、特にレベル2（日本の2級）のニーズが高く、早急に実施されることが期待されています。レベル1については早ければ、2018年にも試験が行われる見込みで、レベル2については、学科試験問題、実技試験問題が完成し、法的に認可されました。まずは2018年10月から評価者訓練をAHRDAにて実施する予定となっています。評価者育成の成果によって試験日程が決定しますが、2019年1月～2月下旬には、国家技能検定試験が実施できるのではないかと、との見込みです。

ASEAN地域技能競技大会が閉幕。日本からも技術支援

8月30日（木）から9月4日（火）にかけてバンコクで開催された『ASEAN Skills Competition』には、加盟10か国から331名の選手が参加したほか、25,000人が来訪し、『WorldSkills International』からサイモン会長、リン副会長、ステファン副会長、ロシア公式代表などの幹部も来訪して成功裡に終了しました。

日本からは、厚生労働省、愛知県、JAVADAが往訪して日本ブースを設置し、2023年『WorldSkills Competition』の日本招致をアピールしたほか、企業の協力の下、電子機器組立て職種の課題に対する技術支援（トヨタ自動車）や製造チームチャレンジ職種の2017年アブダビ大会金メダリストによるデモ（デンソー）などを行い、大会を盛り立てました。

日本の関係者は、ASEAN地域で『WorldSkills International』への未加盟国に対して、技能競技大会などによる人材開発の重要性につき意見交換を行い、今後のさらなる発展を応援しました。

ASEAN Skills Competitionの次回開催は2020年のシンガポールです。 （厚生労働省）



技能競技大会：

『WorldSkills International』は、若年者のための技能スキル開発に焦点を当て、世界80カ国のメンバーで構成されています。『WorldSkills International』は、地域技能競技大会と国内技能競技大会を奨励しており、『WorldSkills Competition』は、開催国のサポートにより2年ごとに開催されています。

ASEAN地域技能競技大会は、東南アジア最大の専門教育に関わる競技大会として2年ごとに開催され、ASEAN加盟国10か国の競技者は、実務課題を克服し、専門スキルを磨き、国際品質基準のクリアを目指しています。

ASEAN加盟国の中でも、ブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマーはまだ『WorldSkills International』のメンバーではなく、ASEAN地域技能競技大会を通じて新しい技術やスキルを習得しようとしており、日本政府は『WorldSkills Competition』へ参加を希望しているそれらの国々を技術協力プログラムによって支援しています。

ASEAN地域技能競技大会は1995年に第1回大会がマレーシアで行われ、今年のタイ開催を含め全12回行われており、マレーシアとタイで各3回ずつ、インドネシアとベトナムで各2回ずつ、フィリピンとブルネイで各1回ずつ行われています。

□ 研修レポート

■ ベトナムにおける旋盤3級技能評価トライアル

南部地域（ホーチミン）では、ホーチミン技術職業短大（HVCT）において2015年6月に初めて旋盤3級の技能評価トライアルが実施されており、今回（7月10日～13日の間に実施）が3回目の技能評価トライアルになります。今年度は南部地域での事業強化に向け、ホーチミンでの研修を昨年の1回から3回に増やして、企業のニーズに応えました。この7月の研修も日系企業から33人の受験希望がありましたが、実施施設（HVCT）で使用できる旋盤の台数に限りがある為、特定の企業に受験者が偏ることなく、多くの企業から受験してもらえるように受験者の調整に苦心している状況にあります。今回は6社から16人が受験し、実技試験・学科試験ともに合格者は2人でした。技能評価トライアルは、企業にとっては従業員の能力開発・技能評価の場であり、受験者にとっては自身の技能レベルを評価・確認する場となっており、今後も益々トライアルのニーズが高くなることが予想されます。



実技試験風景



実技試験風景

■ ベトナムにおける旋盤2級・フライス盤2級技能評価技法研修

ベトナム側が自立して継続的に日本式技能検定試験を実施していくためには、学科試験問題集を作成し、ベトナム側で学科試験問題を編成して使用できる仕組みを作ることが重要です。今回（7月16日～18日の間に実施）はハノイ工業大学（HaUI）にて旋盤2級とフライス盤2級の学科試験問題集（True-False）を作成しました。そして、9月と11月に実施する技能評価技法研修では、旋盤2級とフライス盤2級の学科試験問題集（Multiple choice）を作成し、ベトナム側で学科試験問題を編成して彼等自身の手で日本式技能検定試験が実施できるようにしていく予定です。



研修風景（HaUI）

ちなみに、2015年には旋盤3級の学科試験問題集（290問収録）を、2016年にはフライス盤3級の学科試験問題集（250問収録）を作成支援しました。この結果、ベトナム側で学科試験問題を編成して、彼等自身の手で旋盤3級及びフライス盤3級の日本式技能検定試験を実施しています。

□ 2018年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

「技能評価システム移転促進（SESPP）事業」では、日本式の技能検定のノウハウを移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。本年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシアにて以下の現地研修を予定しております。

技能評価トライアル（SET）は指導員向けの研修と模擬検定を実施します。トライアルへの参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡ください。ただし、機材の関係で定員が限られておりますので、ご希望にそえない場合がございますことをご了承ください。

対象国	セミナー・トライアル	実施時期
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ・旋盤3級SET ・旋盤2級・フライス盤2級SEM（第1回） ・旋盤2級・フライス盤2級SEM（第2回） ・旋盤2級SET ・シーケンス2級SET ・旋盤3級SET ・旋盤2級・フライス盤2級SEM（第3回） ・機械検査3級SAT、SET ・機械検査3級SET ・シーケンス2級SET 	7月10日(火)～13日(金) 7月16日(月)～18日(水) 9月6日(木)・7日(金)・10日(月) 9月11日(火)～14日(金) 10月23日(火)～26日(金) 11月13日(火)～16日(金) 11月21日(水)～23日(金) 1月7日(月)～11日(金) 1月14日(月)～17日(木) 1月14日(月)～17日(木)
カンボジア	<ul style="list-style-type: none"> ・旋盤3級SEM ・配電盤3級VTM ・電工SET（競技トライアル+デモ） ・電気系保全3級SAT、SET ・シーケンス制御3級SAT、SET ・旋盤3級VTM ・配電盤3級SET 	10月16日(火)～20日(土) 11月12日(月)～16日(金) 11月26日(月)～30日(金) 12月3日(月)～7日(金) 12月11日(火)～15日(土) 12月11日(火)～15日(土) 1月15日(火)～18日(金)
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・金属プレス2級SET 	2月18日(月)～21日(木)

SEM：Skills Evaluation Method 技能評価技法研修
 SAT：Skills Assessor Training 技能評価者講習

SET：Skills Evaluation Trial 技能評価トライアル
 VTM：Vocational Training Method 職業訓練技法研修

発行：SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266
 担当：安藤・青木・栗原・風見
 E-mail：sespp@jtb.com